

平成 20 年 6 月 21 日

北関東フォーラム

於：シムックス

中斎塾 北関東フォーラム

平成 20 年 第 6 回講話

おかげさまで『素読論語』が出来ました。関根さんが大分苦労して作ってくれました。自分で言うのもなんですが、読んでみてつくづく皆さんにお勧めできるものだと感じました。人さまから聞かれたら「本物です」とお答え下さい。今の時代、生きていく上で非常に大事なキーワードは<本物かどうか>です。自分のやっている仕事は本物かどうか、自分は本物か、問いかけるのが良いと思います。

『素読論語』が本物だと言い切る理由は、一つには、学術的にかなりレベルが高いものだと自負しています。中身については学術論争を仕掛けられるようなものが、いくつか仕掛けてあります。

二つ目の理由は、誰でも読めて、誰でも分かることです。レベルが高いものは誰でも読めなければいけないし、誰でも聞けなければいけません。読んでみて分からない難しい言葉が書いてあるものは、学んでいる途中だと思って下さい。一つ突き抜けてしまうと、誰にも分かるようなやさしい言葉に置き換わります。

ですから、『素読論語』は非常に良いものだと自分で思っています。

では、恒例となりました質問をさせて戴きます。

「昨日一日、嘘をつかなかった方は手を挙げて下さい」

(・・・沢山手が挙がる)

嘘をつく、つかぬは難しいですね。私は政治家の方にお会いすると、「あなたは舌を何枚お持ちですか？」と聞きます。舌が一枚なら応援します。やはり嘘はつかない方が気持ちやすっきりしています。しかし相手の為にとってもつく嘘は、情状酌量の余地があると思っています。

私は夜寝る時に「今日は嘘をつかなかったかな？」と自問自答して寝るようにしています。嘘をついたとなると、何となく気分がさえない。ですから嘘をつかないという事を身に付けて戴きたいと思います。

もう一つお聞きします。

「昨晚眠る時に、今日は良い一日だったなと思って眠りについた方はおられますか？」
嫌な事が多かったと思ったら、嫌な事を丸めてふっと飛ばしてしまいましょう。何でもよいですから、良かったと思うものを何か一つ思い出す癖をつければ良いと思います。
更にお聞きします。

「ここ一週間くらい、目先の欲につられて動いてしまった方、おられますか？」

(・・・一人もいません)

結構でした。

今、お聞きしたことは全部、「基本哲学」「私の好きな言葉」に関係するものばかりです。

今日は、又、違った質問をしたいと思います。

秋葉原の無差別殺傷事件の時に、仮に現場にいたとします。刃物を持った犯人が向かって来た時に、皆さんはどう対処しますか。生き残るか、生き残れないか。私は事件のあった翌日から、社内で徹底的に訓練しています。刺される瞬間に、後ろに下がっていくのではなく、ちょっと身体を捻ってよける。そうすると、たとえ薄皮を切られても死にはしません。身体を捻ってかわす動きが自然と身に付いていれば、刺されても致命傷にはなりません。(実際に立ち上がって、練習をしました。)

では、質問します。

「皆さんはお腹がへってどうにもならないという体験はありますか？」

・・・ちらほらおられますね。私もありまして、どうにもなくなると身体中から力が抜けて倒れます。

「心が乾いて、心の中が荒んでどうにもならない。切なくて惨めで、自分の心が乾ききって干からびている。そういう経験がある方はおられますか？」

「何か必死になって、死に物狂いでやったという経験のある方はおられますか？」

秋葉原の無差別殺傷事件の犯人は、心が乾いて苦しくて切なくて・・・そういうメッセージを出していたと思います。世の中に対する鬱憤が溜まって、「誰でもよいからかまって貰いたかった・・・」と報道されています。小さい子供が親にかまって貰いたくて、ひっくり返ってじたばた騒いでいるのと同じです。これがたまたま大人で凶器を持ったから、今回のようなとんでもない事件を起こしたのだと思います。こういった事件は、これからいくらかでも起きると思います。

今、世の中が荒んでいます。私はこの中斎塾フォーラムを通じて、荒んだ世の中をよくしたいと思っています。それには自分自身の心の中にある荒んだものを、自身で一回綺麗

にする。それには人さまの為になる事をする、不思議なもので自分の心の中も綺麗になります。

具体的に何をするか・・・。何か問題が起きた時、又は、何か行動を起こそうと思う時の判断基準を、この中斎塾フォーラムの中で身に付けて、尚且つ実行力まで高めていって下されば良いと思います。

例えば<論語は良い・・・>という判断基準が出たとします。だったら論語にどっぷり浸かってみる。そして論語の素読を通して論語を広めていく。<論語を広めた方が良い>という判断があって、実行力がある。そして実行に移す。一つ一つを進めると、なんだかエネルギーが湧いて来ますね。自分だけ儲けようとするエネルギーは湧きませんが、人さまの為にと思ってやっていると、エネルギーがどんどん湧いて来ると思います。ですから自分だけ良いと思うことではなく、客観的に見て良いと思うことを実行に移して戴くのがよい。尚且つそれを継続できると良いですね。

荒んだ世の中だと感じるにしても、出来るだけ客観的に世の中を見る癖を持っていないと、ここまで荒んだかなと感じません。世の中を見回す時には、すべて判断基準が元になります。

電車の中でお化粧をする女性をよく見かけます。外国人の人から見ると、日本はどうしてこんなに売春婦が多いのかと思われてしまうような状況です。又、靴を脱いで足を座席に乗せている女性も、外国人の常識では誘っていると捉えられます。

日本の常識と他の国の常識は違うのですが、外国人が増えている現状ですから、自分たちの常識も棚卸ししなければいけないと思います。昔の自分の常識は今の常識から外れていないか、世界の常識から違ってないか、時々客観的に自分の頭の中にある常識を見直してみる必要があると思います。それには本質・大局・歴史をベースにして、自分の持っている常識を洗い直しして視点を変える。こういう訓練をしておく必要があると思います。

視点を変えるという点で、もう一つお話しします。

この間、群馬県警の或る幹部の方とお話する機会がありました。群馬県は27ヵ月連続で窃盗が減ってきていましたが、今年の4月から又、増え始めたのだそうです。理由は万引きや自転車泥棒が増えたからだそうです。そこで専門家に調べて貰ったところ、「私は眼から鱗が落ちました・・・」と言っておられました。なかなか眼から鱗が落ちるという経験は少ないと思います。何故かと聞きましたら、

「誰でも調べれば分かることですが、今迄は誰も調べていなかったのです。群馬県には大

型商業施設があります。そしてその中に専門店が沢山あります。万引きの集中しているお店を調べたら、そのお店のどの棚だという事が分かった。ならばそこを意識的に店員さんや警備員を付かせれば万引きが減るのではないかと。今、そういう手を打ち始めました」と言われました。

何のことはない、現場を調べればよく分かるではないか、そして徹底的に源を洗えばよいのです。古典で言えば抜本塞源論ではないかと感じました。抜本塞源論とは、何か問題があったなら問題の源流を辿る、根本を調べることです。王陽明が書いた論文です。問題が起きたなら一番の原因を調べれば良いのです。

今日は本を2冊紹介致します。

1冊は、森信三先生の『一つ一つの小石をつんで』という本です。先日前橋の木鶏クラブで戴きました。躰について書かれていますので、少しご紹介致します。

躰には根本的な3つの事柄がある。

1. 挨拶・・・朝起きたら気持ちの良い挨拶が出来るかどうか。家庭でも会社でもきちんと挨拶が出来るかどうか。

2. 返事・・・呼ばれたら「ハイ」と返事をする事。

3. 片付け・・・立ったら椅子を元に戻す。部屋に上がったら靴を揃える。

これが教育の根本であり、これがきちんとできるお子さんであれば、どんどん伸びていくと書いてあります。大人になっても必要だと感じます。

もう一冊ご紹介する本は『虹を創る男』邦光史郎著（集英社）です。

三洋電機を創った井植歳男さんについて書かれた小説です。松下幸之助さんと井植歳男さんの関係が分かります。人が人を認める時には、何かきっかけがあります。井植さんは14歳で松下幸之助さんの所へ手伝いに入りました。人手が足りないから奥さんの弟の井植さんに出て来て貰ったというのがスタートのようです。井植歳男さんは13歳の時に、自分が乗っていた船が岩壁に着く際に、倉庫の大爆発に巻き込まれて炎上し、咄嗟に海に飛び込んで九死に一生を得ました。松下幸之助さんも溺れそうになった経験を持っていたので、“この児も、生きるか死ぬかの死に物狂いの経験をしたのだ”と思い、心がふわっと広がったのでしょう。

井植さんについて私の大好きな話があります。2万人の社員がいる松下電器の専務から独立をした時の話です。

20人の仲間を前に吹きさらしのおんぼろ工場で、創業の挨拶をするとの事で、みかん箱

の上に立って、

「今の我々には何も無いけれども、三洋電機は世界を相手として、これからどんどん大きくなっていく。世界一の発電板のメーカーになるぞ・・・」と延々と演説をぶったと云うところです。

やはり物事はスタートが肝心だと思います。三洋電機のスタートは、世界が相手だという熱気のコモった夢を社長が語ったことだったと感じます。

私が今、中斎塾フォーラムで進めさせて戴くものも、<還暦を過ぎて社会に何かお返しをしたい、何かをしなければならぬ>と思った部分が最初の言動力になっております。私が良いと思う考え方「知足」を世の中に広げて、日本全体に広がっていく。それを見届けつつ、世界に向かって発信したいと思っています。世界全体を見ると「足るを知る」という考え方を持っている国は非常に多いのです。特にこの間ブータンに行った時に、つくづく感じました。

今、人類は広がり増えすぎていますけれども、途中でブレーキがかかるはずですが、新型インフルエンザによって1億人が死ぬと言われていますが、本当に私はそういう時代が目の前に来ると思っています。シムックスでもすでに2,000人分のマスクを買って備蓄しています。少なくとも自分自身の家庭・親族・縁者を守る為にマスクや手袋を準備したり、うがいの習慣を身に付けていくことが必要だと思います。今の人類の中で1億人ほどは、やはり亡くならざるを得ない状況下に来ていると思っていますので、自分たちが出来ると思うことを少しずつ手をつけていこうと思います。

では、時事問題についてお話し致します。

インフレとデフレについてです。

今、日本の国だけがデフレではありません。世界全体が今迄にない事態に直面していますから、食べ物なくなるのは当たり前ですし、お金が通用しなくなるのも当たり前です。以前から食べ物なくなるという話はしていましたが、それに対応する動きが出てきました。セブンアンド・アイ・ホールディングスが全国10ヵ所に生産農業法人を作る動きがありますし、ワタミも農業事業を作っています。こういった農業法人が、日本国内から国外にどんどん広がるだろうと思います。商社もこれからは食糧生産に向けてどんどんスピードを上げていくでしょう。これによって世の中が悪い方向に進む部分はかなりあると思っています。

インフレはこれから凄まじく、世界的に広がる。そしてデフレも同時進行です。普通の

言い方はスタグフレーション（不況下における物価高）ですが、不況下における物価高とは違う局面に入ってきていると思います。

では我々はどうするか……。食べ物・着る物・住む所、等々自給自足をする。そういう世の中になっていかざるを得ないと思います。又、そうなっていかないと生き残れないだろうと考えています。我々の今やるべき事は、自給自足の努力を進めていくことです。自給自足の努力を一所懸命する事によって、荒んだ世の中を少しでも良くする方向にいけるとと思います。

時々、自分がやっていることは良いことだろうか、「足るを知る」という気持ちで見直すと良いでしょう。例えば自分の家庭の中で笑顔があるか見直してみる。笑顔があるという事は、足るを知っていることに繋がります。ピリピリしてご機嫌を伺うような環境ばかりでは、世の中おかしくなります。やはり笑顔が満ち溢れていなければおかしいのです。

「足るを知る」……。自分は満足かな？ 今日一日良かったかな？ 人に親切にしたかな？ 自分も親切にされたかな？……。といった事をふっと思い出すような日々が送れる社会を目指す。私はこのフォーラムを通じて、そういう世の中に進めていきたいと思っています。

グリーンピースの鯨肉窃盗事件について申します。

調査捕鯨船の乗組員が自宅に送った鯨肉を、グリーンピースジャパンのメンバーが宅配便の集配所でそれを抜き取って持って来てしまったのです。泥棒したわけですから、日本の警察は逮捕しましたが、グリーンピース側は不法逮捕だと主張し始めました。

そこで我々が判断する場合、判断基準としては<泥棒をしてはいけない>と思います。しかし泥棒したと思われるグリーンピースの人達は「鯨肉を持ってきたけれども、これは食べようと思って持って来たのではない。日本の捕鯨調査船の違法性を世の中に訴える為に、証拠品として確保したのだ」と主張しています。

是か非かと思います。皆さんは違法だと思いますか？ 違法ではないと思いますか？

……(会員)「言い訳だと思います。人から許可なくものを持ち出した行為はいけなんでしょう」

有難うございました。私もそれは正解だと思います。ただ、今の世の中これからどんどん混沌化してきます。乱れてきます。そうすると一見尤もらしい主張が世の中に氾濫します。ですから主義主張が一見尤もらしいものでも、「待てよ」と思うことが必要です。こ

の人はこういう主張しているけれども果たして正しいのか、自分にとってこの考え方は相応しいか相応しくないか、考える必要があります。これは論語で言う「耳順」です。相手の言う事を素直に聞いてみて、そして自分で判断する。是非判断基準を身に付けて戴くことをお願いして、本日の講話を終了致します。有難うございました。